

第26回 私立大学職員「人間ネットワーク」(兵庫開催) 日程のご案内

平成23年6月18日(土)

12:00~ 12:30	キャンパスツアー(希望者のみ) ※受付にご集合ください。
12:30~ 13:00	受付(メディアライブラリーCELL)
13:00~ 17:00	<p>第1部 《研修会》 メインテーマ:『大学自主防災論』 13:00~ 開式 13:10~14:10 研修会 (60分) 『自然災害!いざ出陣できるか?大学生ボランティア』 講師:浅野 英一先生 摂南大学外国語学部教授</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「備えあれば憂いなし」といった諺も、大自然の猛威には何の歯止めにはならなかった東北大震災。想定外とか想定内といった定義も意味をなさなかった。</p> <p>そんな中、ボランティア活動をして、現地の人々を支援したいという大学生は少なくない。ボランティアといっても、単なる力作業から、避難所管理など、様々な分類に分けられる。</p> <p>行くだけで、現地のお荷物となるボランティアもいる。反面、自然災害を想定し、訓練された学生ボランティアを作ることで、組織的に機能して活動できる実戦部隊になる。</p> <p>そのような学生組織を大学が持つのか、持たないのか、または育てるのかという課題について、摂南大学の例をあげて説明する。</p> <p>育てるのかという問いには、大学の授業を休んで災害ボランティアとして参加した学生をどう扱うのかという大学として、非常に難しい判断にあえぐ状況も踏まえたい。</p> </div> <p>14:10~14:20 休憩(10分) 14:20~16:15 グループ別討議(115分) グループ別テーマ 1)学生ボランティアの活性化 2)防災教育とキャリアデザイン 3)防災リーダーとしての職員教育 4)災害時における大学の地域貢献 5)その他※上記以外のテーマを参加者が当日決定します 16:15~16:20 休憩(5分) 16:20~17:00 討議の結果発表・総括(40分)</p>
	移動
18:00~ 20:00	第2部 《情報交換会》(120分)

平成 23 年 6 月 19 日（日）〈オプション情報交換会〉

集合場所・時間は研修会時にお知らせします	阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」見学 参加費：約 3,500 円／1 人（入館料・昼食代含む） ※移動の際の交通費は各自でお支払いただきます。
～15:00	解散予定

※オプション情報交換会の申し込みは必ず研修会参加申し込み時と同時に申し込み下さい。

参加費は当日徴収します。

※旅程は予定です。都合により変更となる場合があります。

申込方法

参加ご希望の方は下記 URL の参加申込フォームからお申込みをお願いいたします。

参加費は当日受付で徴収します。

<https://spreadsheets1.google.com/viewform?formkey=dHdEM2hDZTd4bUdnLUJuVTBOLTNXckE6MA>

申込み締め切り : 5月31日(火)

浅野英一 先生 プロフィール

摂南大学外国語学部 教授（国際協力論、国際ボランティア論、ボランティア論担当）

摂南大学地域連携センター 副センター長

摂南大学ボランティア・スタッフズ 顧問

摂南大学少林寺拳法部 顧問

NPO 寝屋川市国際交流協会 常任理事

NPO 魅来づくりわかやま 常任理事

大阪 K-ABC 研究会 会長

国際協力推進協会 開発教育・国際理解教育アドバイザー

1958 年愛知県名古屋生まれ。1983 年～1985 年国際協力事業団（JICA）青年海外協力隊員としてマラウイ（アフリカ）に赴任。1992 年ジョージア州立 Southern Polytechnic State University 大学院卒業。1992 年～1993 年国際協力事業団（JICA）社会開発調査部に勤務。1993 年～2000 年 JICA 国際協力専門家としてケニアのジョモケニア ッタ農工大学工学部に赴任。2000 年～2002 年京都大学で開発途上国研究を経て、2002 年～2010 年 摂南大学外国語学部准教授、2011 年 現職に至る。

出版著書

- ・国民参加型国際協力ハンドブック（2005年）
- ・国際協力・国際交流ハンドブック～基礎から実践へ～（2006年）
- ・ライフストーリーでつづる国際ボランティアの歩き方（2007年）

ボランティア・スタッフズの活動概要

摂南大学ボランティア・スタッフズの主な活動は、災害緊急時に被害地での災害復旧支援活動、災害時に活動できる青少年リーダーの育成、地域内の小・中・高校の児童・生徒に対する野外活動を通じた教育支援である。夏と冬の集中的な訓練を通じ、災害救護・救援に必要な技術、野外活動技術、サバイバル技術の勉強会・講習会などを行い、「いつ・どこ」で災害が発生しても、活動対応ができるように訓練することを目的としている。要請があればいつでも出動し活動できる体勢を整えてある。ただし、大学の授業出席の関係上、出動範囲は原則的に近隣県としている。

摂南大学ボランティア・スタッフズは、自ら防災教育を学び、学生ファシリテーターとなって中高生に対して、「災害時に活動できる青少年ボランティア・リーダーの育成セミナー」を実施し「災害時には自分の命は自分で守る。」という原点に立ち、災害が発生した時の対応、行動を座学と実践で経験し、家族や地域の人々を助ける知識を習得するユニークな活動を実施している。セミナーでは、参加者一人ひとりのリーダーシップを伸ばし、何事にも主体的にチャレンジするリーダー的意識を育む活動やセミナーを行います。地震などの自然災害に対して平時から自分たちの住む地域にどのような危険と問題があるかをよく理解し、その状況に応じて自主的に対応できるようにします。日頃知っているつもり、あるいは大丈夫だと思っていることが、身に付いていないことを認識し、それが非常に大切なことだという意識を育ませます。また、減災という視点から、自分たちの生命に関わる被害が少しでも軽減できるよう、家庭をはじめ地域の災害現場において実際に役に立つ知識と技術が発揮できるような実践的な活動を1年間を通じて体験することで災害に備えています。